

# 働く女性は、 何にお金を使っている？

---

福岡県の女性のフトコロ・消費意識・  
自己投資の実態調査アンケート



2013年1月

株式会社アヴァンティ

avanti働く女性研究所事務局

給与明細を眺めていて、ふと気になることは「私の手取りってこのくらいだけど、他の人はどうなの？皆、お給料を何に使っているんだろう...？」職場や友人にはなかなか聞けないこの疑問、アヴァンティでリサーチ。所得や貯蓄額から、お金の使い道まで、福岡県の働く女性たちのフトコロ事情や金銭感覚、消費実態を詳しくレポートします。

## 【調査概要】

### 1. 調査データ

avanti働く女性研究所

### 2. 調査方法

avanti働く女性研究所  
登録メンバーに対するインターネット調査

### 3. 調査対象

メンバーのうち、現在、何らかの収入  
を自身で得ている女性

### 4. 調査期間

平成24年12月17日～平成25年1月21日

### 5. 調査規模

168サンプル

## 【回答者属性】

#### ●年齢

20歳～24歳	2.4%	40歳～44歳	18.5%
25歳～29歳	11.9%	45歳～49歳	14.9%
30歳～34歳	21.4%	50歳以上	11.3%
35歳～39歳	19.6%		100%

#### ●未既婚

未婚	48.2%
既婚	39.9%
経験有	11.9%
	100%

#### ●雇用形態

正社員	58.3%	パート・アルバイト	13.1%
契約社員	13.1%	経営者	4.2%
派遣社員	7.7%	休職中	3.6%
			100%

## 【回答者属性】

### ●職種 ※休職中の人は除く

事務	50.0%	専門職	22.2%
営業	10.5%	管理職	3.1%
販売	1.9%	その他	4.9%
接客	7.4%		100%

### ●従業員数 ※休職中の人は除く

10人未満	17.3%
10～30人未満	18.5%
30～50人未満	4.9%
50～100人未満	9.3%
100～300人未満	16.0%
300人以上	34.0%
	100%

### ●勤続年数 ※休職中の人は除く

1～4年	42.6%
5～9年	32.1%
10～14年	11.1%
15～19年	4.9%
20～24年	4.4%
25～29年	4.9%
30年以上	0.0%
	100%

# 1.働く女性たちのフトコロ事情

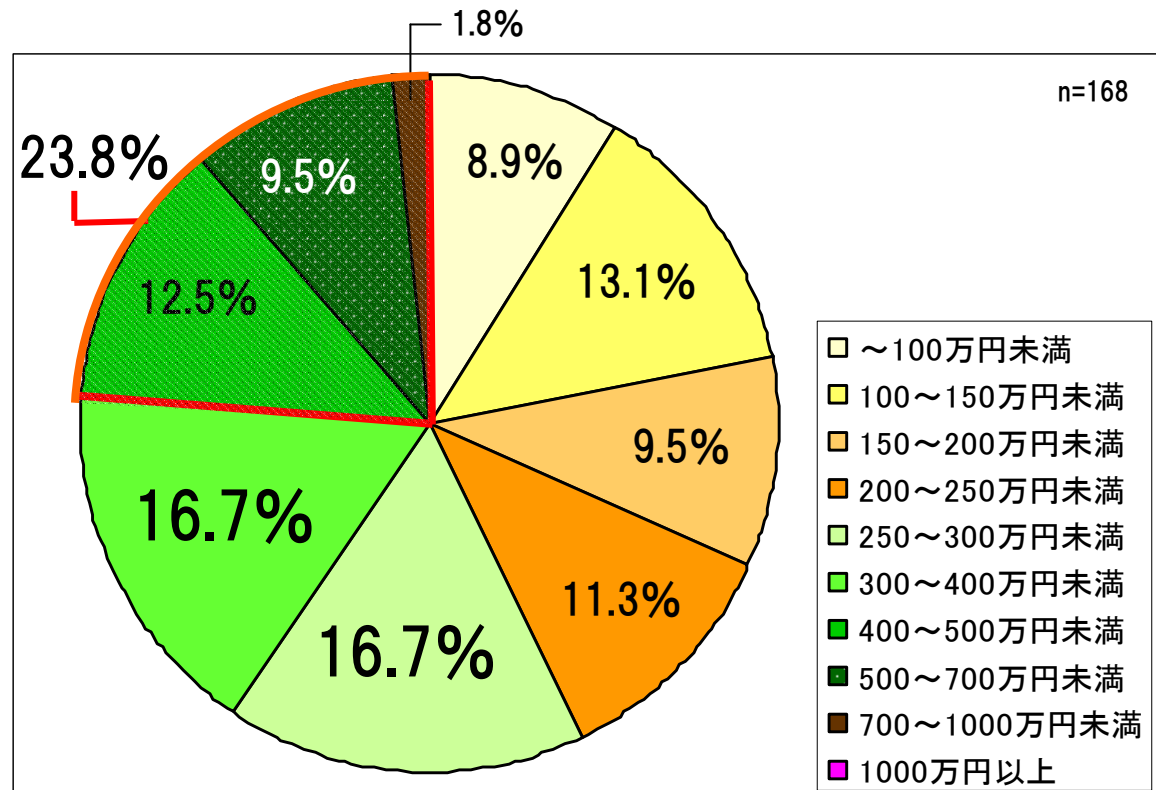
---

---

# 年収は250～400万円台が最多、全体の1/4は400万円以上も

Q1. あなた個人のおおよその年収額を教えてください（額面）

⇒Q1を年代別に集計



	20代	30代	40代	50代
～100万円未満	0.0%	7.2%	14.3%	10.5%
100～150万円未満	20.8%	11.6%	10.7%	15.8%
150～200万円未満	12.5%	10.1%	7.1%	10.5%
200～250万円未満	25.0%	11.6%	5.4%	10.5%
250～300万円未満	8.3%	20.5%	16.1%	15.8%
300～400万円未満	12.5%	18.8%	16.1%	15.8%
400～500万円未満	20.9%	13.0%	7.1%	15.8%
500～700万円未満	0.0%	5.8%	19.6%	5.3%
700～1000万円未満	0.0%	1.4%	3.6%	0.0%

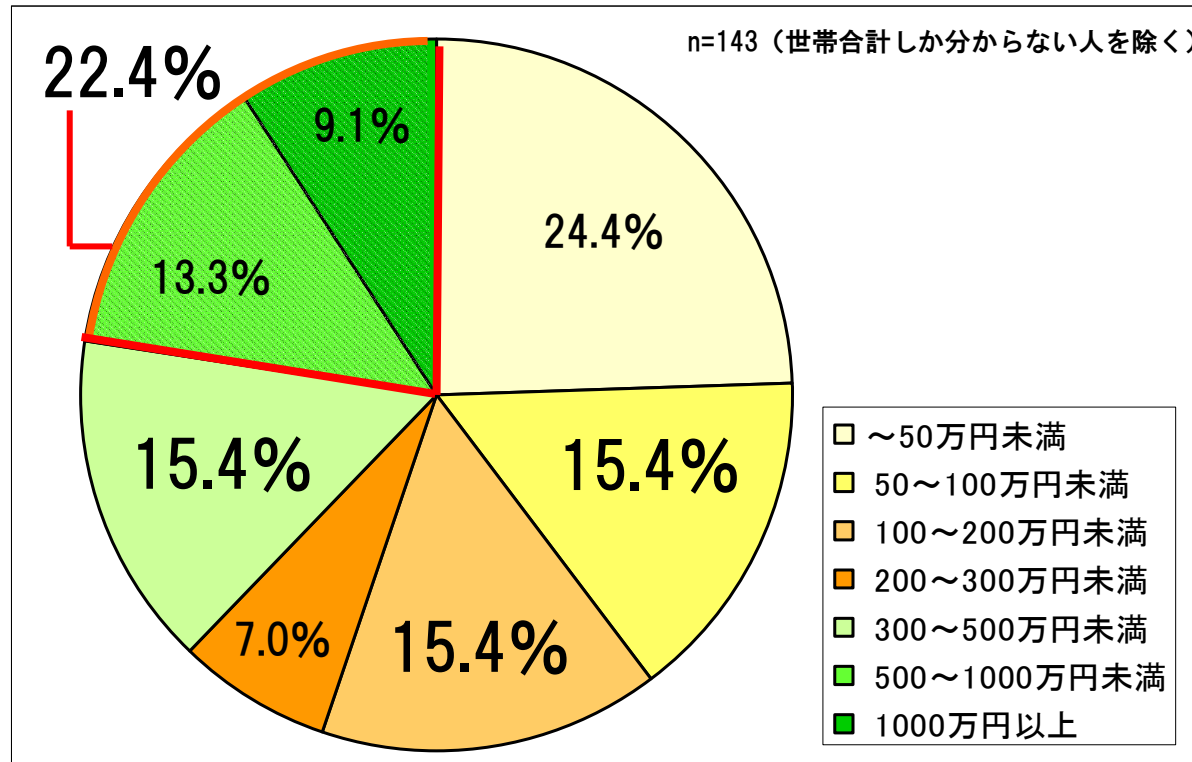
年収は250～400万円台が33.4%と最も多い。年収200万円以下は31.5%と約3割、400万円以上の高所得者は23.8%と全体の1/4を占めている。

年代別に最も多いところを見ると、20代は「200～250万円未満」、30代は「250～300万円未満」、40代は「250～300万円未満」「300～400万円未満」と、年齢が上がるほど収入も上がり、働く女性たちの間でも年収は年功序列となっていることが分かる。

# 貯蓄は50～500万円台に分散、500万円以上は2割強

Q2. あなた個人の現在の貯蓄総額はいくらですか？

⇒Q2を年代別に集計



	20代	30代	40代	50代
～50万円未満	54.5%	24.6%	13.0%	16.7%
50～100万円未満	13.6%	15.8%	13.0%	22.2%
100～200万円未満	18.2%	15.8%	13.0%	16.7%
200～300万円未満	4.5%	7.0%	6.5%	11.0%
300～500万円未満	9.2%	17.5%	15.3%	16.7%
500～1000万円未満	0.0%	14.0%	23.9%	0.0%
1000万円以上	0.0%	5.3%	15.3%	16.7%

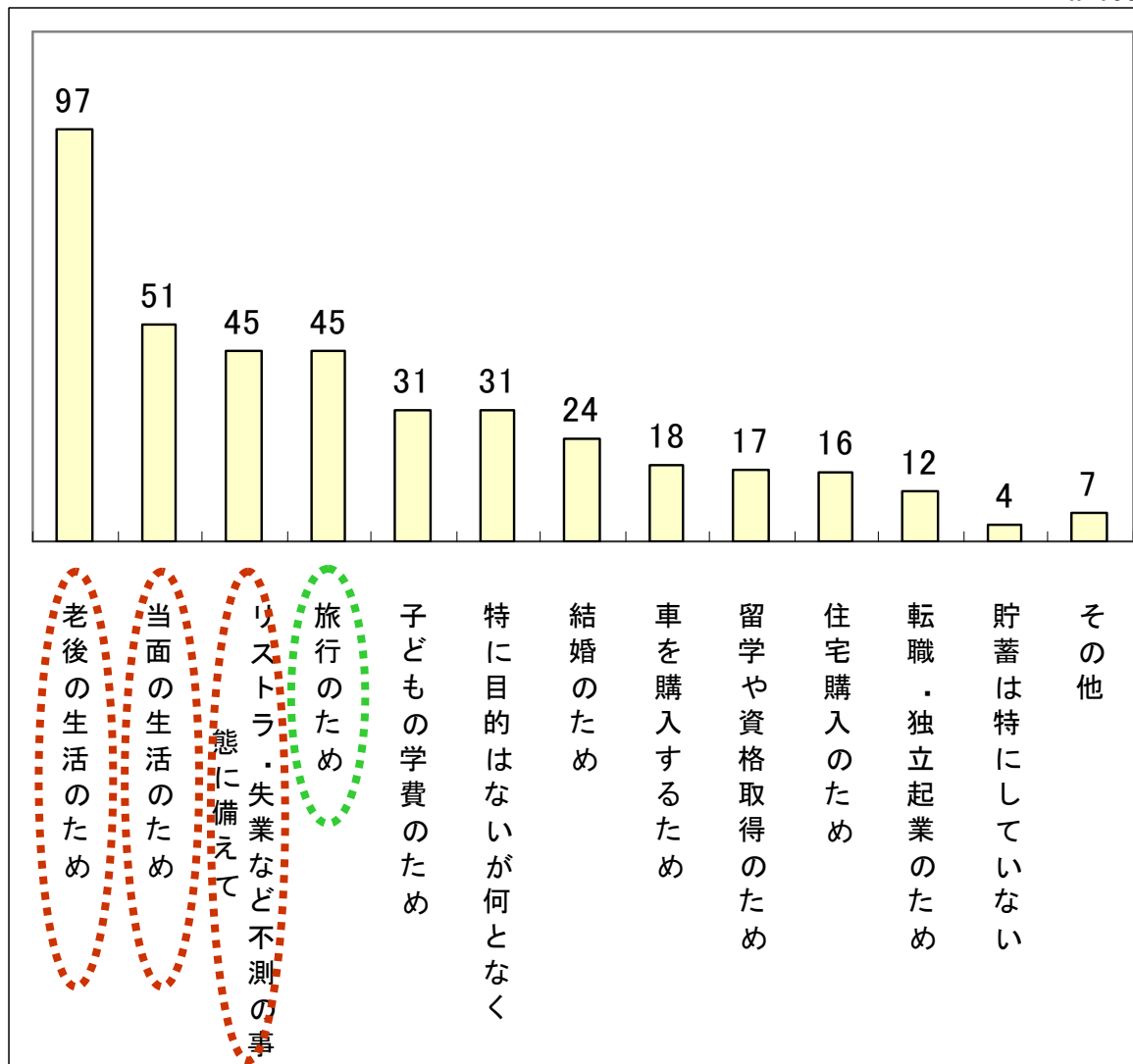
貯蓄総額は「50～100万円未満」「100～200万円未満」「300～500万円未満」が最多の各15.4%。一方、「50万円未満」が24.5%、「500～1,000万円未満」「1,000万円以上」が合わせて22.4%と、それぞれ全体の約1/4を占めている。

年代別にみると、20代では半数以上が「～50万円未満」、30代では「～50万円未満」が最多の2割強、「300～500万円未満」が約2割弱と差がみられる。40代では300万円以上に集中し、50代ではばらつきがみられる様子。

# 貯蓄・・・老後・緊急時の備えは必須。でも旅行にも惜しまない！

Q3. 貯蓄の目的は何ですか？（複数回答）

n=168



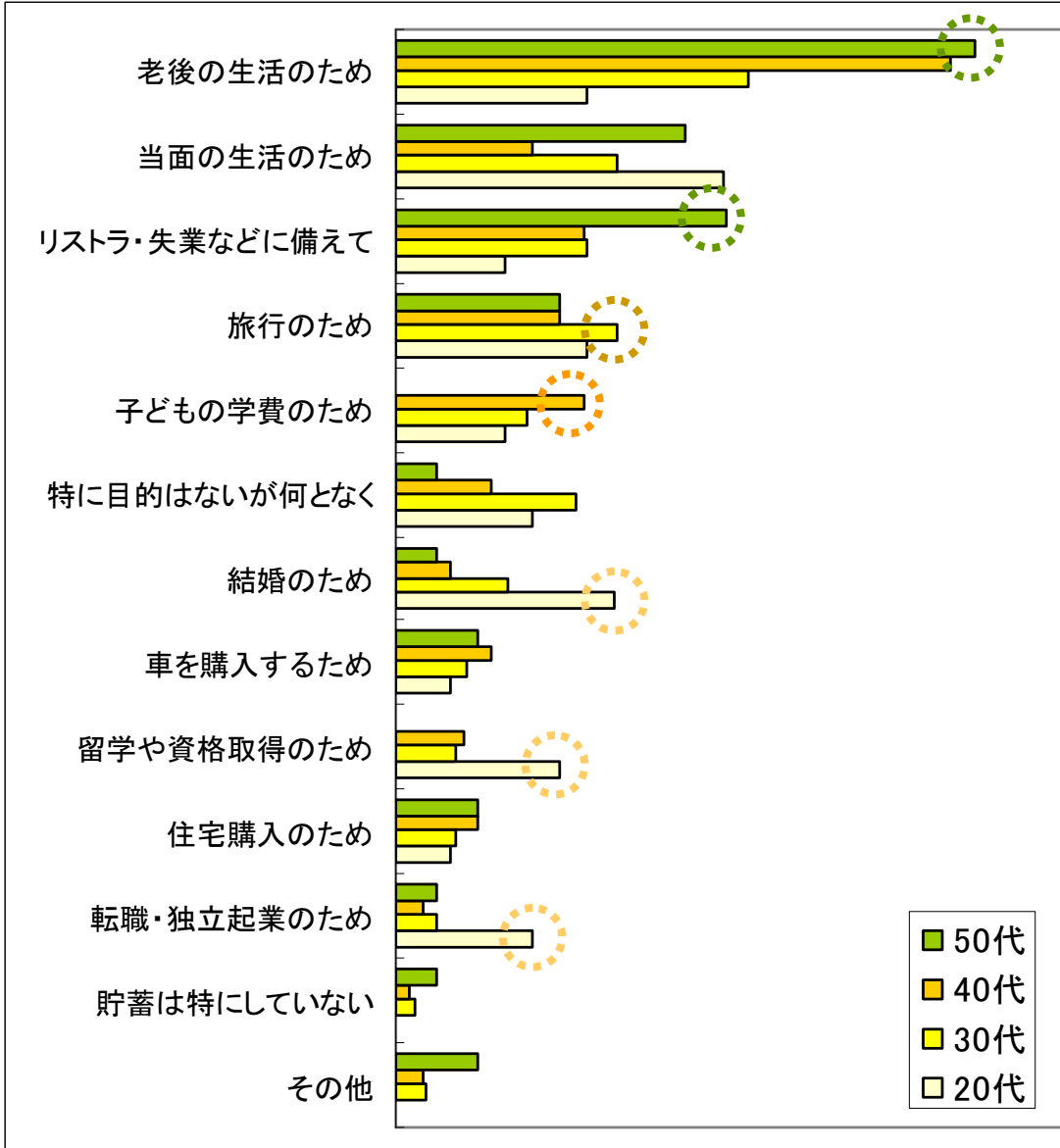
「老後の生活のため」が第1位。その後も「当面の生活のため」「リストラ・失業など不測の事態に備えて」という回答が続く。先行き不安な将来に備えて貯蓄をしている女性たちの姿が浮き彫りに。

また、同3位には「旅行のため」という項目がランクイン。子どもの学費や結婚、住宅などといったライフイベントのための貯蓄以上に、旅行のために貯蓄する女性が多いことから、女性たちが「旅行」をいかに重要視しているかが伺える。

# 年代別・貯蓄の目的…

Q3を年代別に集計

n=168



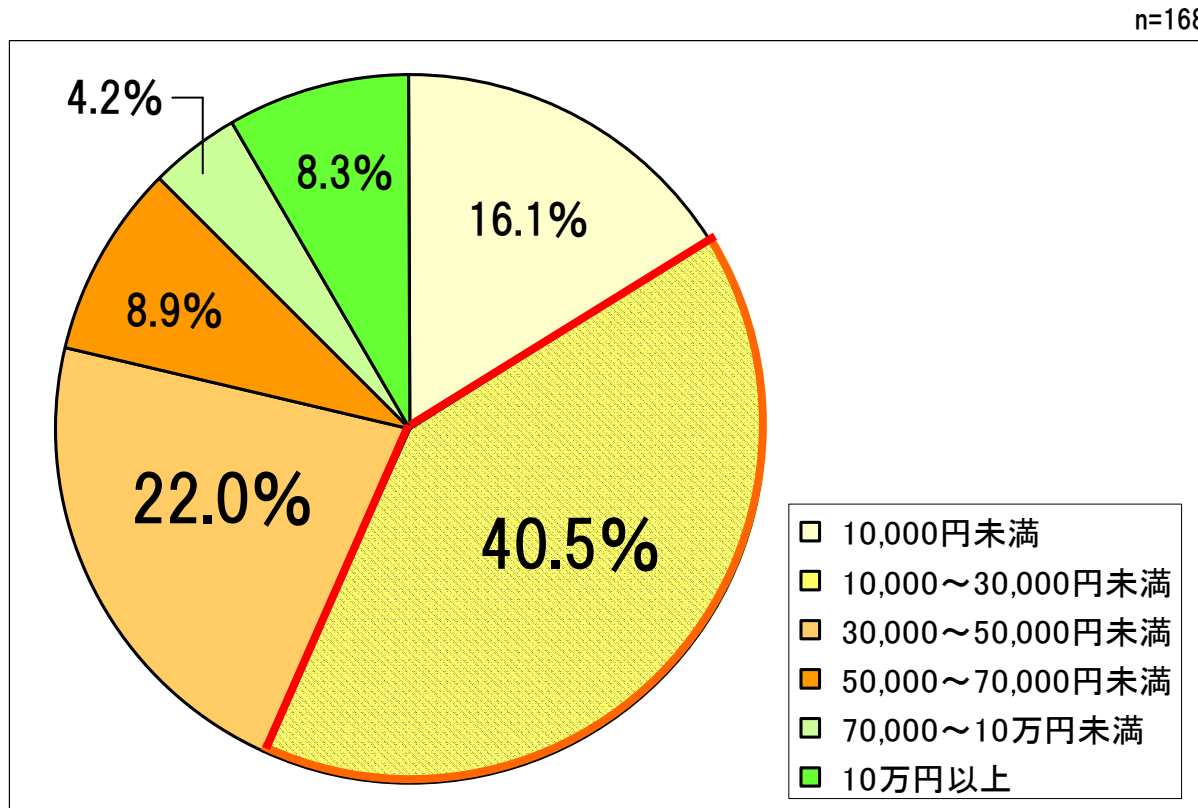
20代では「当面の生活のため」、30・40・50代では「老後の生活のため」がトップ。

年代別にみても…

- 20代…「結婚のため」「留学や資格取得のため」「転職・独立起業のため」が多く、夢や自己実現に投資する姿が。
- 30代…「旅行のため」「特に目的はないが何となく」が多い。大きな夢や目的はあえて決めずに過ごしている様子…？
- 40代…「子どもの学費のため」も多い。子育てに自己資金を投入せざるをえない現実があるようだ。
- 50代…「老後の生活のため」「リストラ・失業など不測の事態に備えて」に集中。いよいよ老後に真剣になっている姿が。

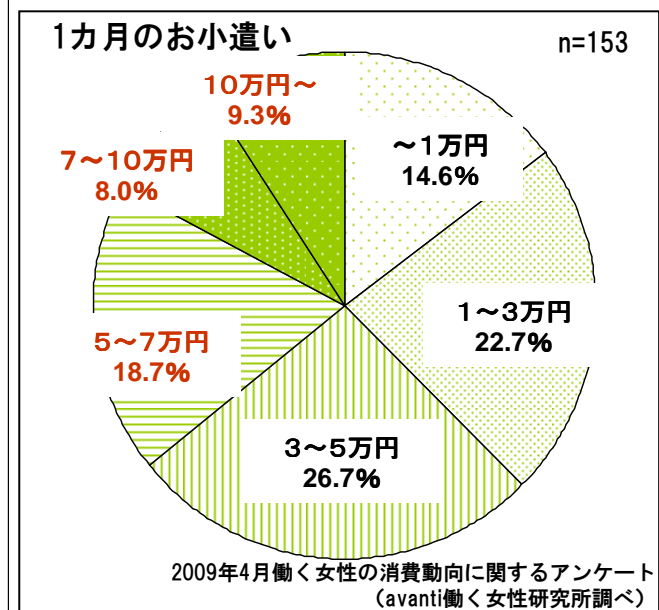
# お小遣いは1～3万円が一般的、5万円以上も約2割

Q4. 毎月、あなた一人のお小遣い（自由に使えるお金）はどのくらいありますか？



【比較】

2009年4月のアンケート結果では

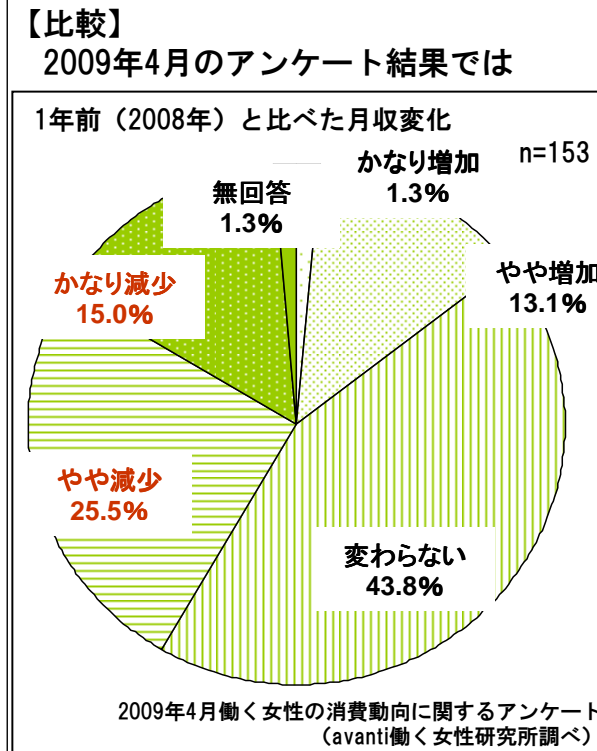
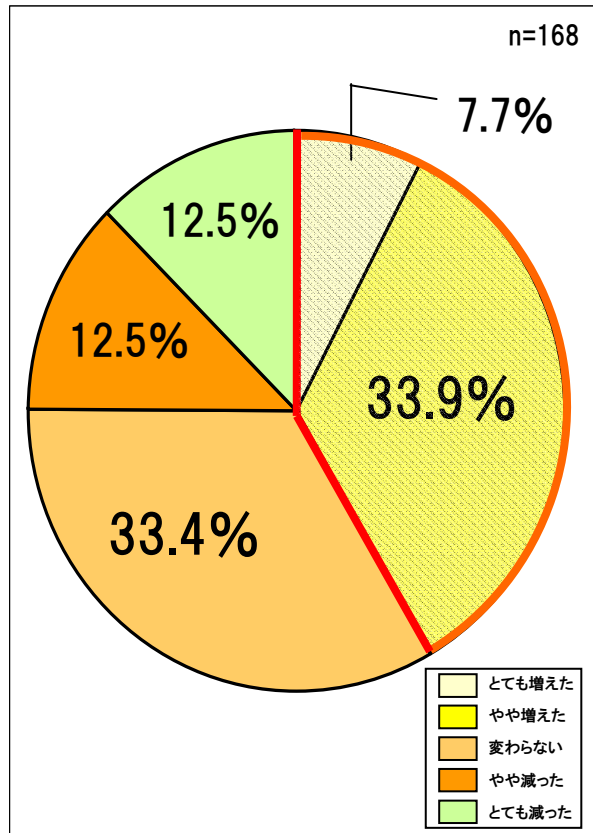


「10,000～30,000円未満」が最多の40.5%。ついで「30,000～50,000円未満」が22.0%。「50,000～70,000円未満」「70,000～10万円未満」「10万円以上」も合わせて21.4%と、毎月50,000円以上も自由に使える女性も2割存在している。

2009年4月の結果と比べると、女性たちのお小遣い額は全体的に縮小傾向にあるという意外な結果が。リーマンショック直後はまだ不況の実感がなかったのが、その後先行きの見えない将来への不安を感じ、お小遣いよりも貯蓄を優先するようになったのでは、という予測もできる。

# 月収・3年前と比べて…約4割は「増えた」と実感

Q7. 3年前（2009年）と比べて、あなたの月収に変化はありましたか？ ⇒Q7を雇用形態別に集計



	とても増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	とても減った
正社員	11.2%	30.6%	31.6%	14.3%	12.2%
契約社員	0.0%	45.5%	31.8%	9.1%	13.6%
派遣社員	0.0%	23.1%	53.8%	7.7%	15.4%
パート・アルバイト	9.1%	40.9%	36.4%	4.5%	9.1%
経営者	0.0%	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%
休職中	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	16.7%

「とても増えた」「やや増えた」が合わせて41.6%と4割。「変わらない」は約3割だった。

2009年の結果と比べても、「やや増えた」層が20.8%増え、「やや減った」層が13%減少している。2009年のリーマンショック直後からは、明らかに景気回復している様子がみてとれる。

雇用形態別にみると、

正社員…「とても・やや増えた」が41.8%と若干の増加傾向に。

契約社員…「やや増えた」が45.5%と、「変わらない」を上回って増加傾向。

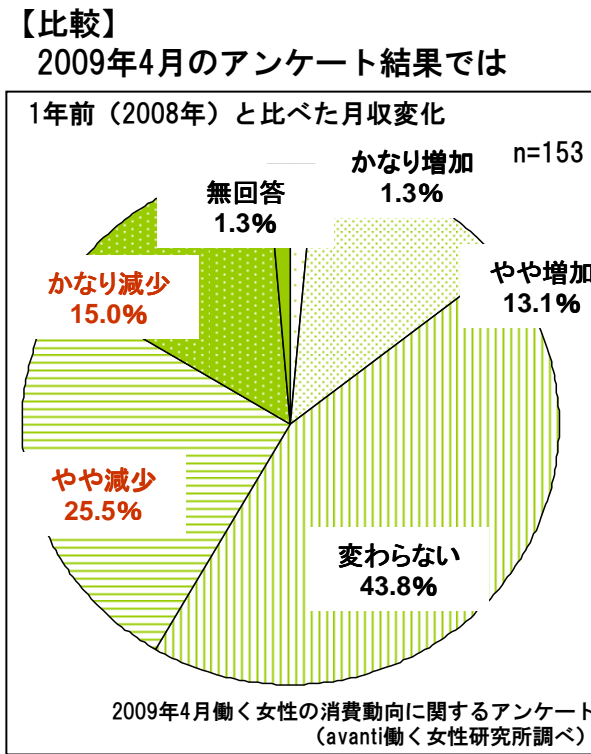
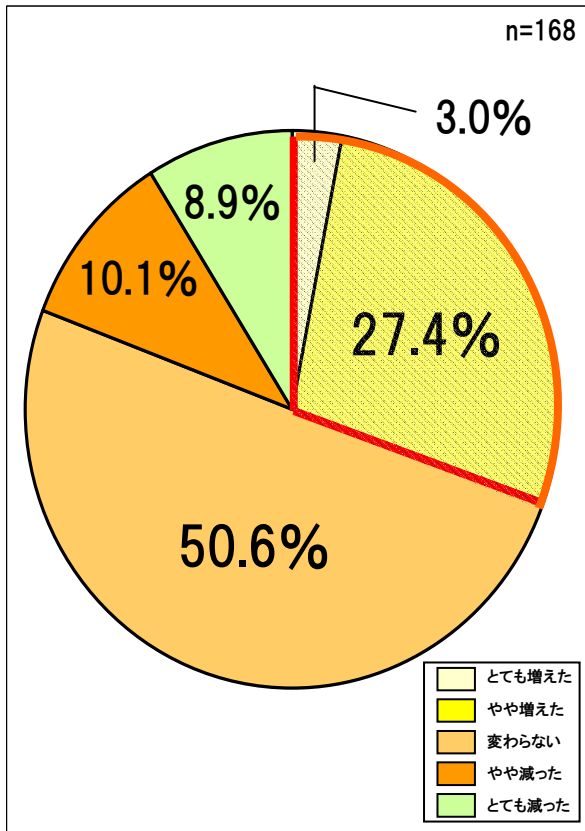
派遣社員…「変わらない」が半数強。

パート・アルバイト…「とても・やや増えた」が約半数。

経営者…「やや増えた」～「とても減った」までばらつきあり。

# 月収・1年前と比べて…半数は変化なし、3割はややアップ

Q5. 1年前（2011年）と比べて、あなたの月収に変化はありましたか？ ⇒Q5を雇用形態別に集計



	とても増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	とても減った
正社員	2.0%	27.6%	48.0%	11.2%	11.2%
契約社員	4.5%	18.2%	68.2%	4.5%	4.5%
派遣社員	0.0%	30.8%	53.8%	7.7%	7.7%
パート・アルバイト	9.1%	40.9%	36.4%	13.6%	0.0%
経営者	0.0%	0.0%	71.4%	14.3%	14.3%
休職中	0.0%	33.3%	50.0%	0.0%	16.7%

雇用形態別にみると…

正社員…「とても・やや増えた」が29.6%いる一方、「やや・かなり減った」も22.4%。会社によってかなり差が激しいようだ。  
契約・派遣社員…「変わらない」が半数強。「とても・やや増えた」が「やや・かなり減った」を上回っている。  
パート・アルバイト…「とても・やや増えた」が約半数。所得アップに励む人多数？  
経営者…「変わらない」7割。「増えた」0%。

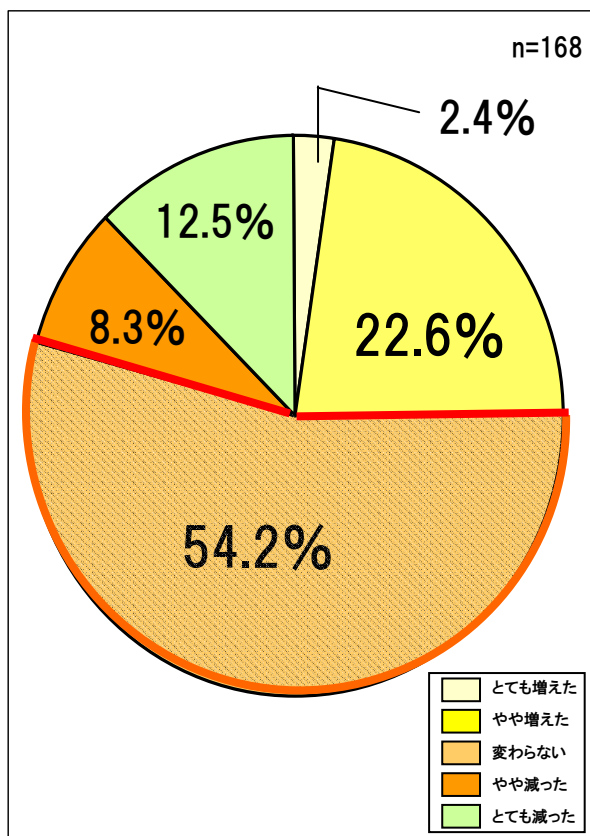
全体をみると、「変わらない」がおよそ半数。一方で「とても増えた」「やや増えた」は合わせて30.4%。定期昇給の影響もあるが、約3割は1年前より月収が増えた実感。

2009年の結果と比べると、「やや減少」「かなり減少」が40.5%から19%と、大きく減少していることがわかる。リーマンショックから約3年を経てからの景気回復は確かにある。しかし、2011年と比べて「増えた」という実感を持つ人は3割にとどまることから、ここ1年の景気回復は横ばいといったところか。

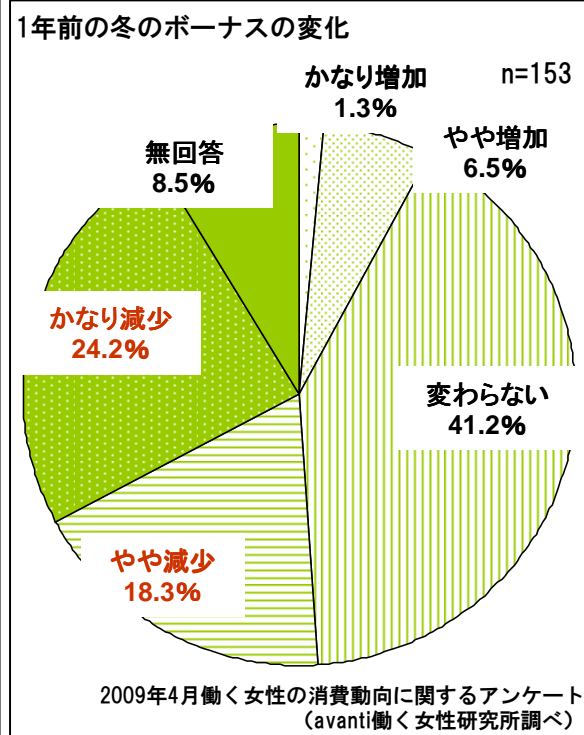
# 冬のボーナス 正社員は変わらず、非正規社員に光が！

Q6. 1年前（2011年）と比べて、冬の賞与に変化はありましたか？

⇒Q6を雇用形態別に集計



【比較】  
2009年4月のアンケート結果では



	とても増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	とても減った
正社員	2.0%	19.4%	54.1%	10.2%	14.3%
契約社員	4.5%	31.8%	45.5%	0.0%	18.2%
派遣社員	0.0%	23.1%	61.5%	15.4%	0.0%
パート・アルバイト	4.5%	31.8%	59.1%	0.0%	4.5%
経営者	0.0%	28.6%	42.9%	14.3%	14.3%
休職中	0.0%	0.0%	66.7%	16.7%	16.7%

「変わらない」が半数以上。「とても増えた」「やや増えた」は合わせて25.0%と約2割にとどまり、「やや減った」「とても減った」も約2割。月収に比べると、好転の実感は少ないようだ。

2009年の結果と比べると、「やや減少」「かなり減少」が42.5%から20.8%と大幅に減り、「やや増えた」が16%もアップ！好転の実感は少ないものの、3年前から比べると減った人の数自体は大きく減ってきている様子ではある。

雇用形態別にみると...

正社員・・・「変わらない」半数、「やや・かなり減った」が「とても・やや増えた」を上回る。

契約社員・派遣社員・パートアルバイト・・・「変わらない」が最多。一方で「とても・やや増えた」が「かなり減った」を上回る。

経営者・・・「変わらない」が4割、「やや増えた」「やや・かなり減った」がともに約3割。

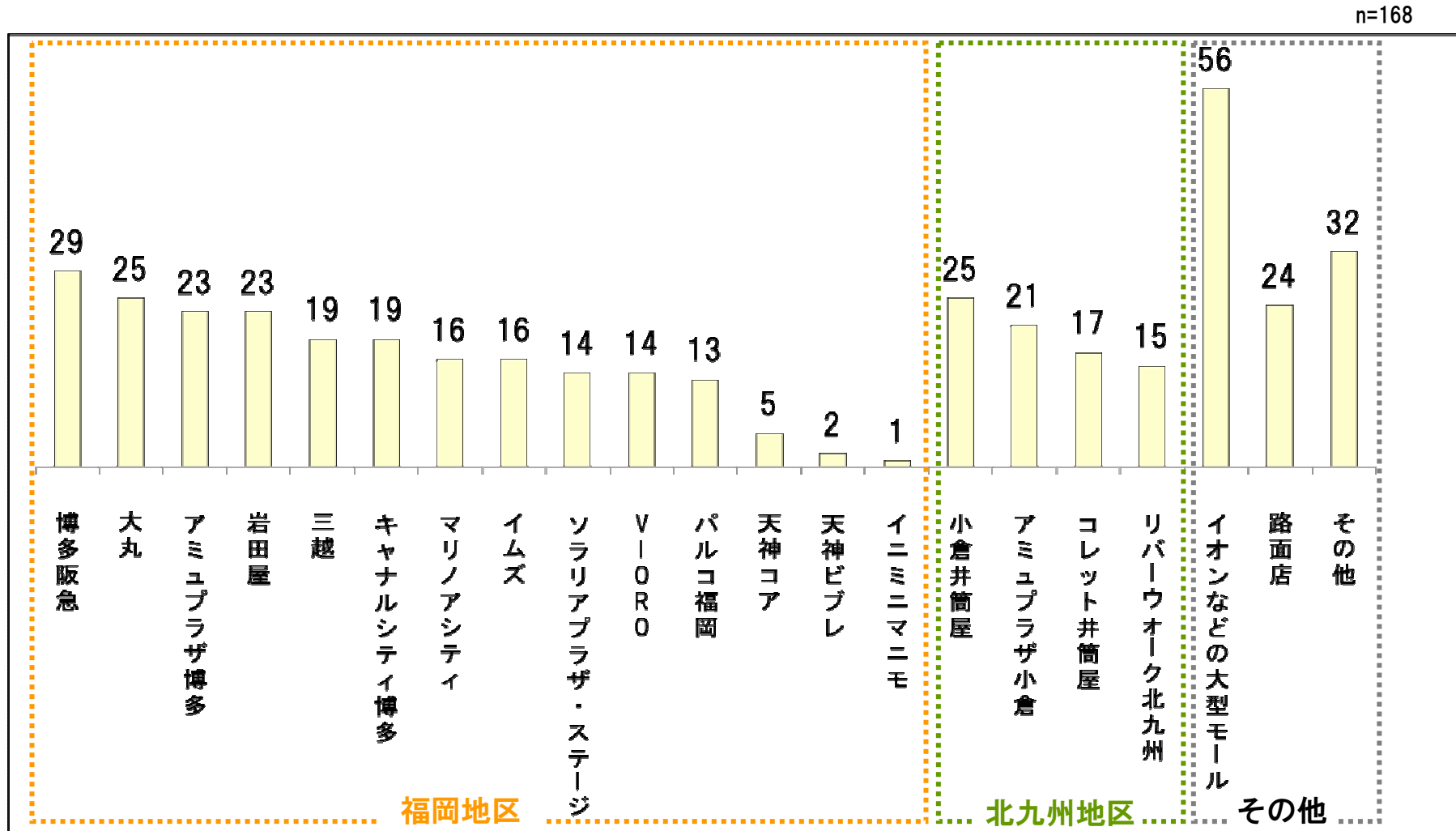
## 2.働く女性たちの消費の実態

---

---

# ファッション消費の実態：博多vs天神、大型モールは堅調

Q1. 普段、ファッションアイテムをよく買う店舗を以下からお選びください。（複数回答）

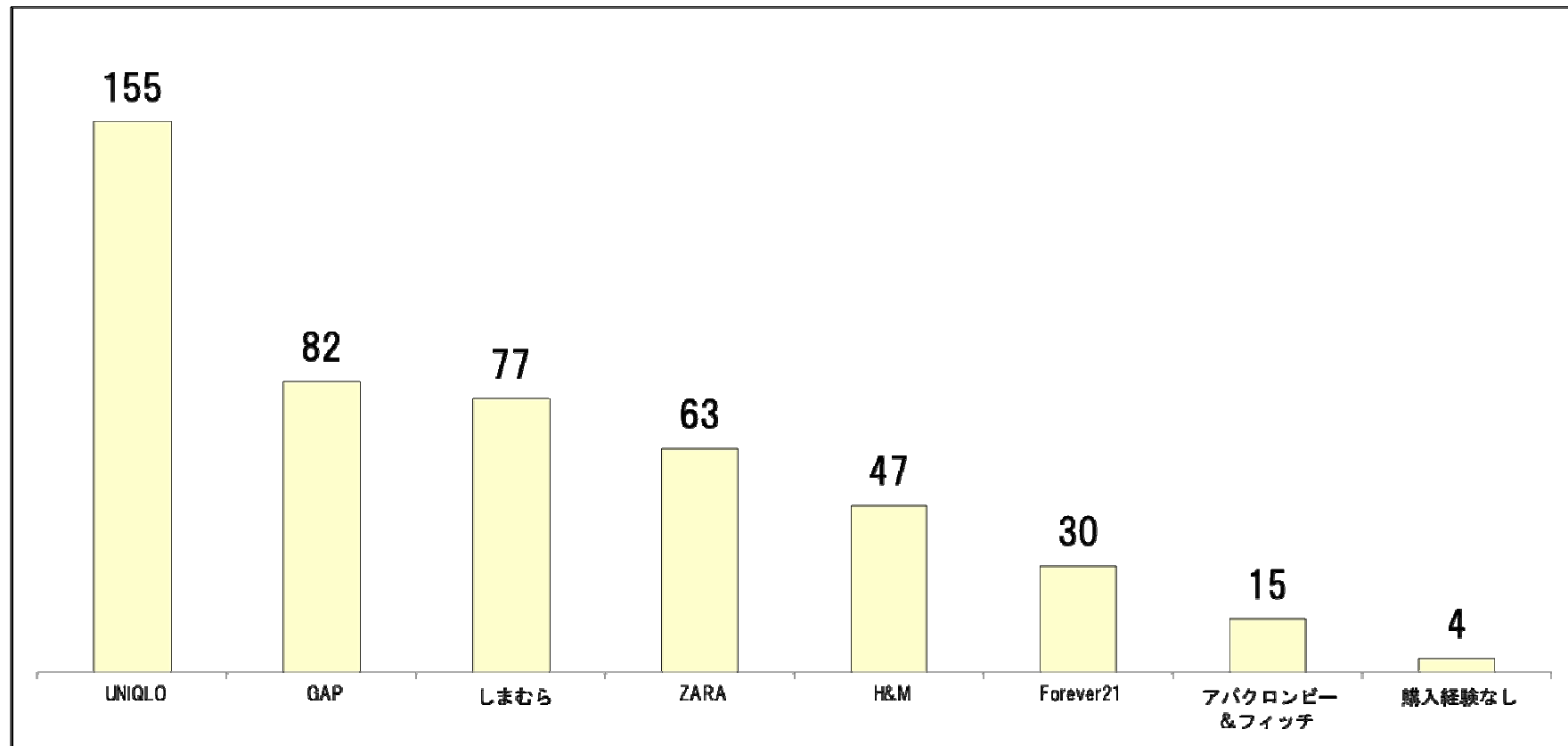


福岡地区の情勢をみると「博多阪急」「アミュプラザ博多」の博多勢が52ポイント、「大丸」「岩田屋」「三越」と天神勢が67ポイントと、博多vs天神という形勢がみえる。北九州市内では「小倉井筒屋」がトップ。また、「イオンなどの大型モール」は利用者が多く堅調な様子。

## ファストファッションも、賢く利用

Q2. 下記のファストファッション系列のショップの中で、購入したことのあるお店を教えてください。  
(複数回答)

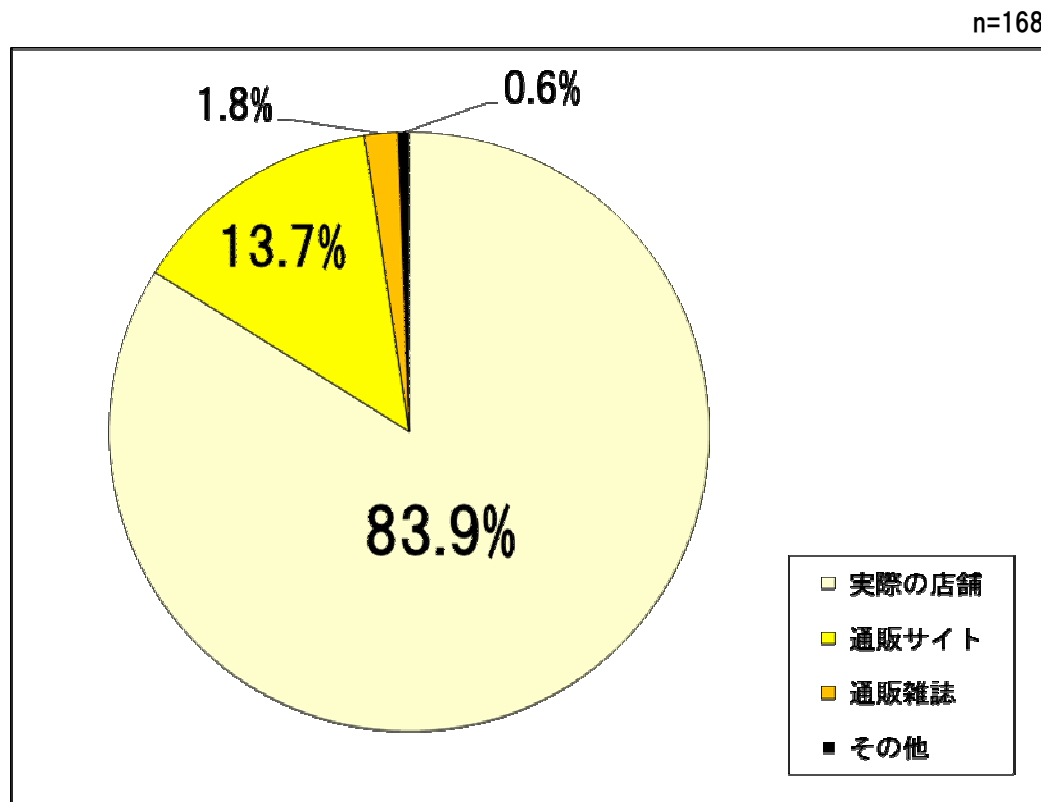
n=168



すでに市民権を得ている「UNIQLO」が群を抜いてトップ。2位以降は、10数年前から福岡県内に店舗を構える「GAP」「しまむら」「ZARA」と続く。近年、福岡県内に進出してきた「H&M」「Forever21」「アバクロ」にも一定数の購入者がいる。また「購入経験なし」はほとんどいなかったことから、ファストファッションは働く女性にも身近で、日常的に賢く日々のファッションにとりいれている女性も多いことがうかがえる。

## 通販全盛 といえど、洋服は直に見て買いたい女性たち

Q3. ファッションアイテムを買うときに、最もよく利用するものを以下からひとつお選びください

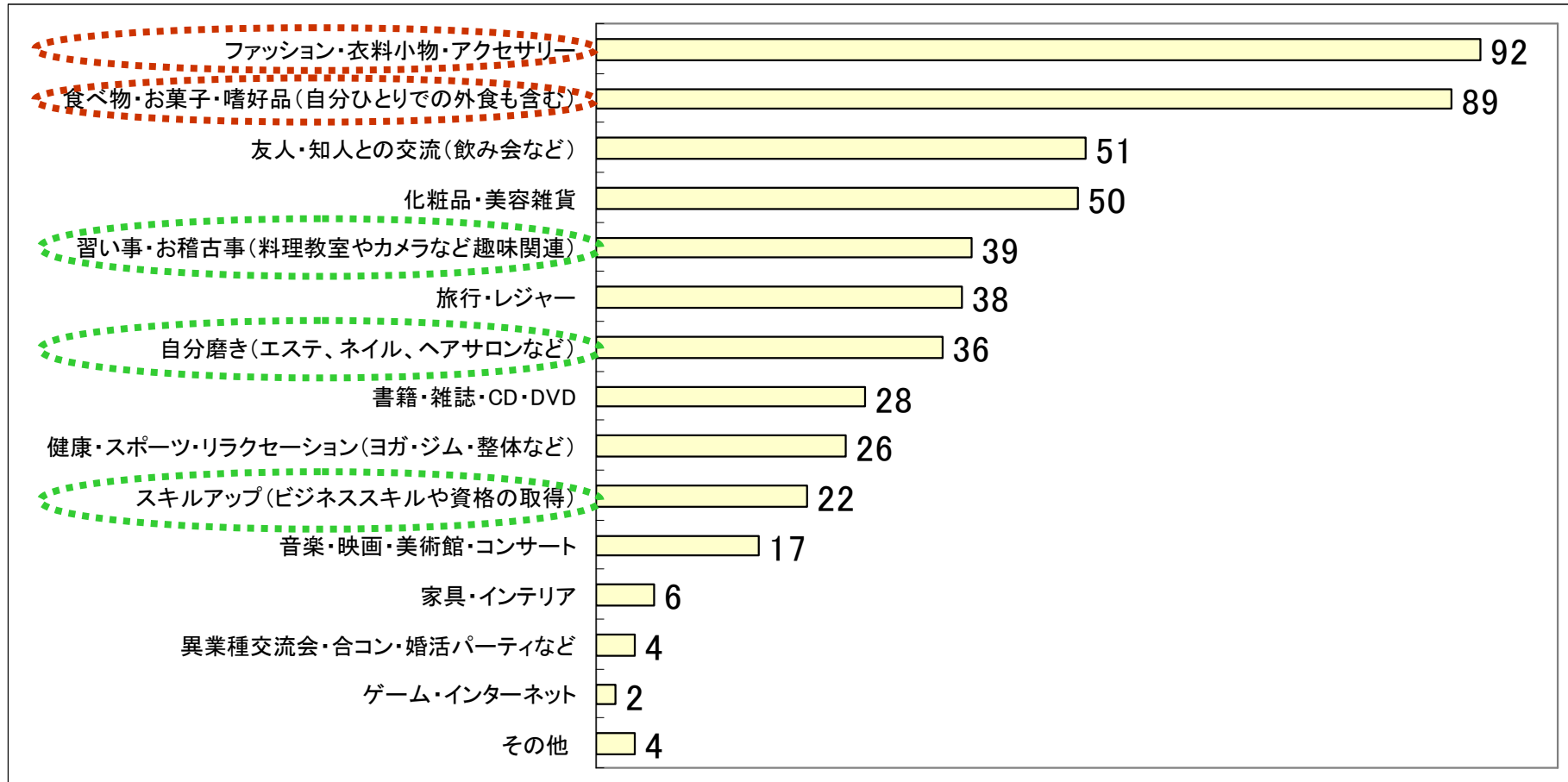


最もよく利用するのは「実際の店舗」が8割以上。「通販サイト」は1割強にとどまった。実際に身に着けるファッションアイテムはやはり実際に目で見て手に取って、納得したうえで購入したいという女性たちの気持ちの表れか。

# 女性たちの三大出費はファッション・食・自己投資

Q4. あなた一人のお小遣いのうち、お金をかけている上位3つをお選びください。

n=168



トップ2は「ファッション」「食べ物」。また、「習い事・お稽古事」「自分磨き」「スキルアップ」の「自己投資」に関連する項目を合計すると、なんと97ポイントとなる点も見逃せない。やはり女性たちは、ファッションや食のみならず、自分のスキルや趣味のためにお金を使っている傾向がうかがえる。

# 年代別・出費の傾向・・・

## Q4を年代別に集計

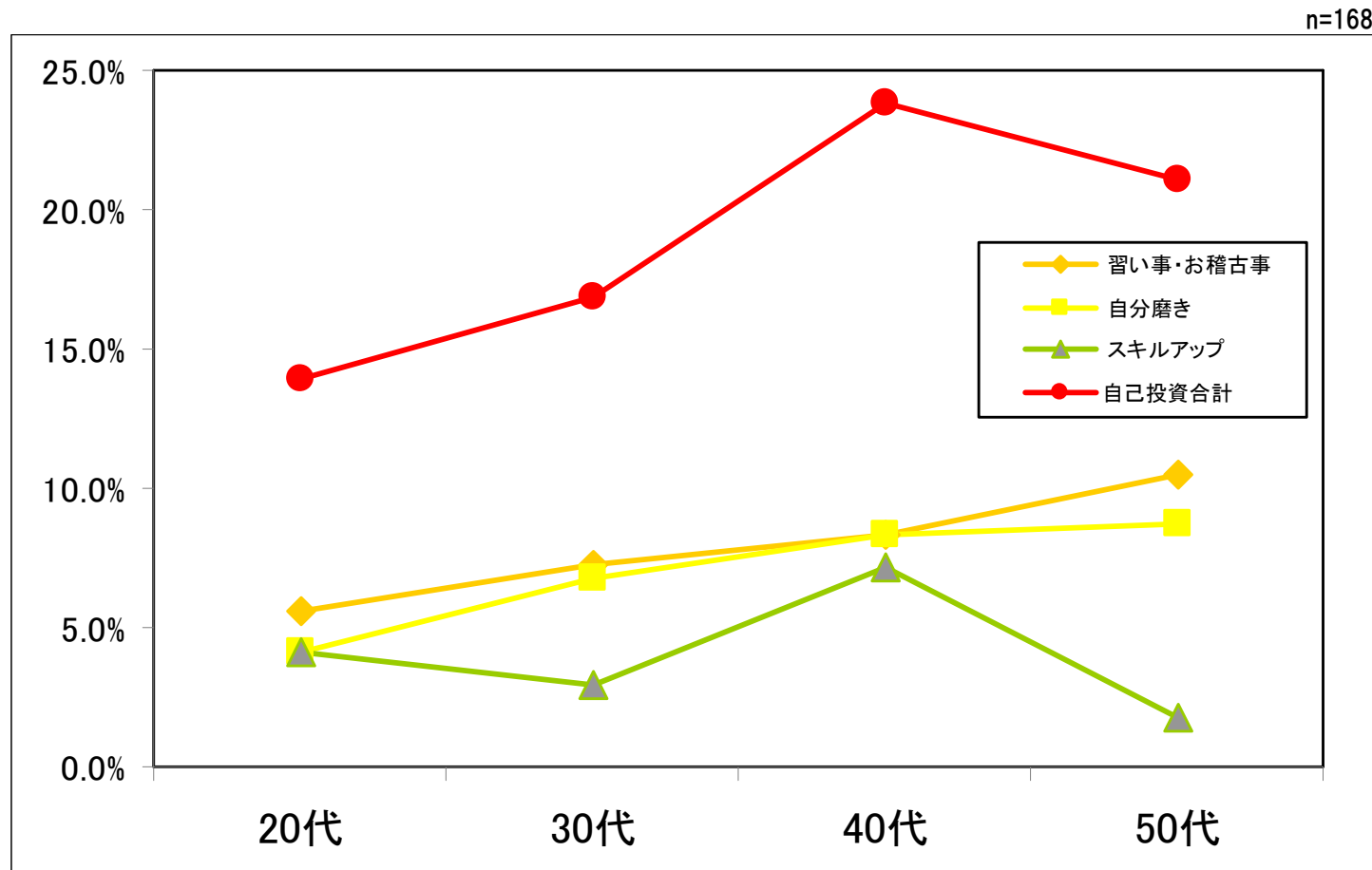
n=168

	20代	30代	40代	50代
ファッション・衣料小物・アクセサリ	22.2%	20.3%	16.1%	12.3%
食べ物・お菓子・嗜好品	20.8%	16.4%	18.5%	15.8%
友人・知人との交流（飲み会など）	13.9%	9.7%	9.5%	8.8%
化粧品・美容雑貨	11.1%	9.2%	11.3%	7.0%
習い事・お稽古事	5.6%	7.2%	8.3%	10.5%
旅行・レジャー	8.3%	9.2%	4.8%	8.8%
自分磨き	4.2%	6.8%	8.3%	8.8%
書籍・雑誌・CD・DVD	2.8%	6.3%	6.0%	5.3%
健康・スポーツ・リラクセーション	2.8%	6.3%	5.4%	3.5%
スキルアップ	4.2%	2.9%	7.1%	1.8%
音楽・映画・美術館・コンサート	1.4%	3.4%	3.0%	7.0%
家具・インテリア	0.0%	1.0%	1.2%	3.5%
異業種交流会・合コン・婚活パーティなど	0.0%	0.5%	0.6%	3.5%
ゲーム・インターネット	0.0%	0.5%	0.0%	1.8%
その他	2.8%	0.5%	0.0%	1.8%

どの世代でも「ファッション」「食べ物」の占める割合が最も多いが、第3位以降の項目に、世代別の違いがみられる。20代・30代は「友人・知人との交流」、40代は「化粧品・美容雑貨」、50代は「習い事・お稽古事」と傾向の違いがみられる。項目別にみると、「旅行・レジャー」は30代、「スキルアップ」は40代、「自分磨き」は50代の出費が高い。人脈や趣味を広げて楽しむ20・30代、美や教養が気になる40代以降は内面へと投資する、という傾向か。

# 年代別・自己投資額の変化…40代まで、自己投資額はアップ

Q4の中から「自己投資」に関する3項目を年代別に集計



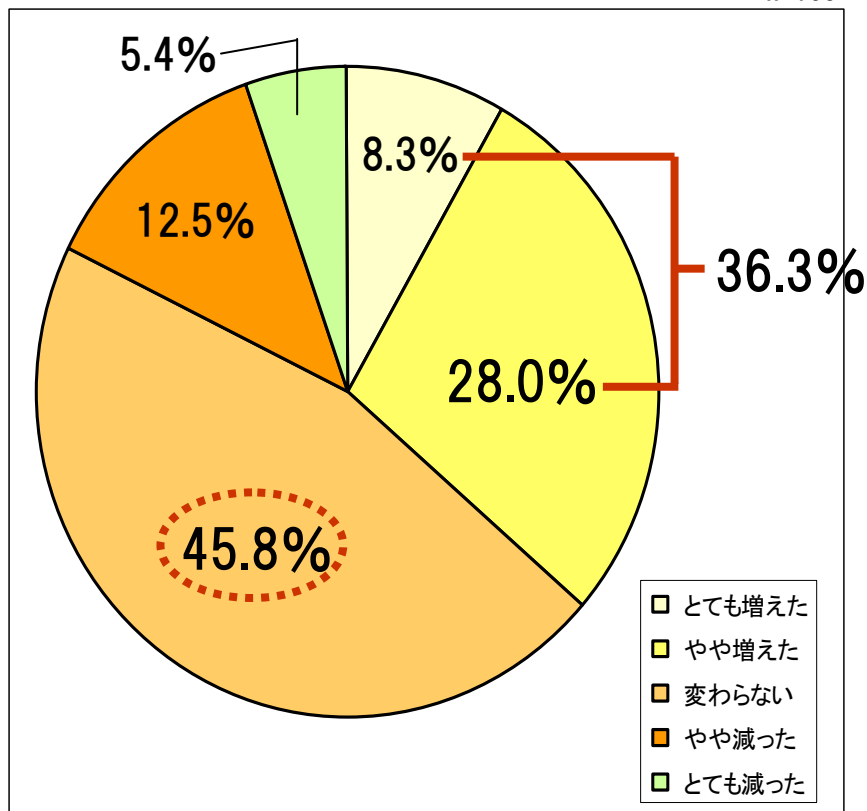
「習い事・お稽古事」「自分磨き」は年を経るほど出費割合が高くなるという結果に。一方、「スキルアップ」は、20代で高く、30代でいったん下降して、40代で最も高くなるが、50代では再び落ち込んでいる。

3項目の合計をみると、20代以降40代までは割合が徐々に高くなり、50代では落ち込む、という結果に。40代までは「自己投資額」の割合が年を重ねるほど高くなるという結果がみられた。

# 1年前・3年前より、自己投資額はアップ！

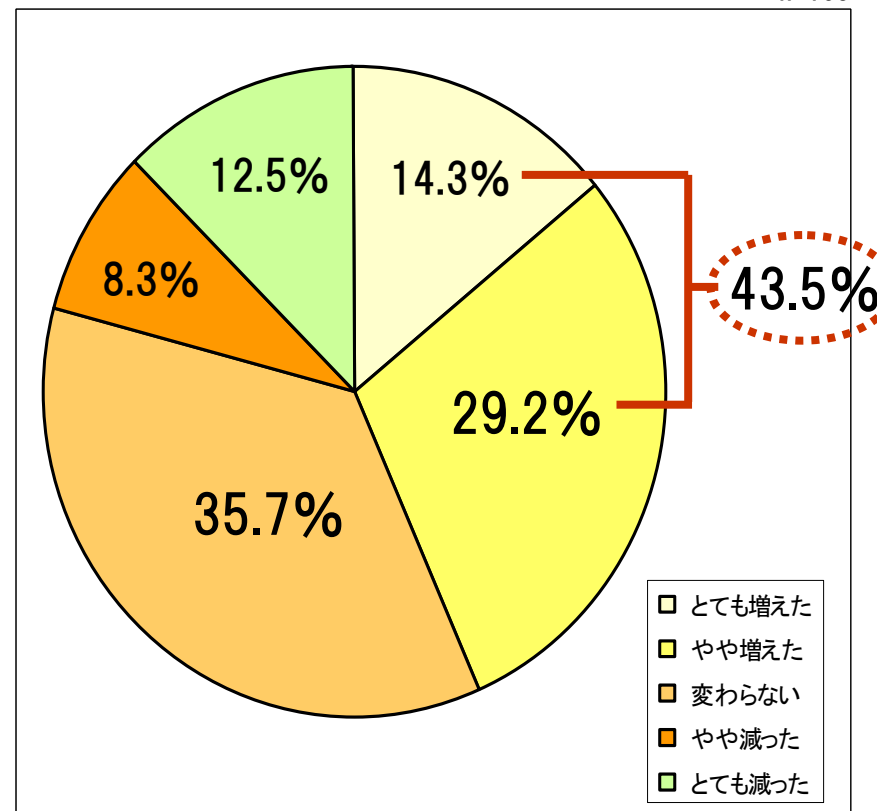
Q5. 1年前（2011年）と比べて、習い事や自己投資へ使うお金に変化はありましたか？

n=168



Q6. 3年前（2009年）と比べて、習い事や自己投資へ使うお金に変化はありましたか？

n=168



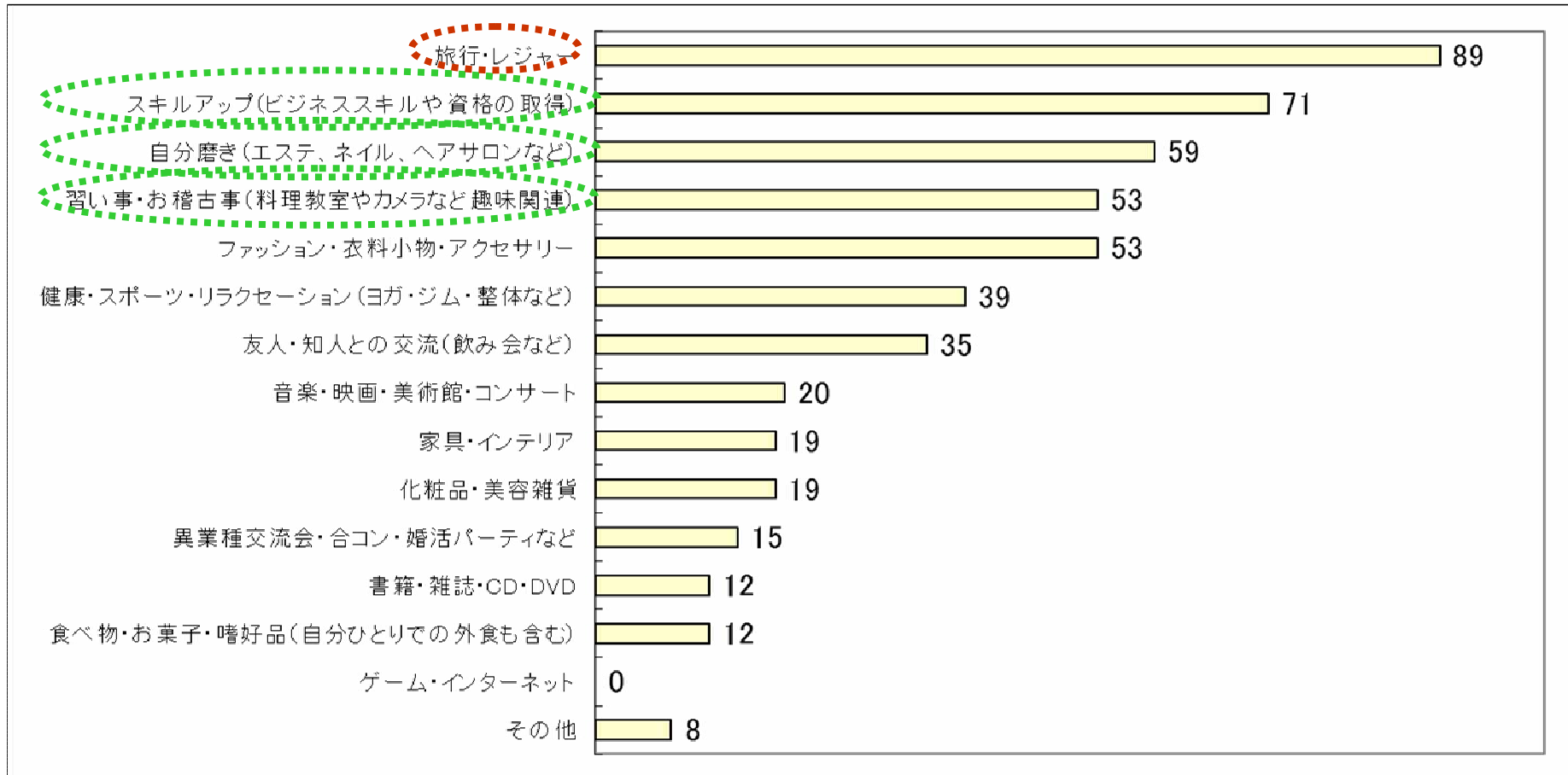
習い事や自己投資に使うお金の変化は、1年前と比較すると「変わらない」が半数弱。「とても増えた」「やや増えた」は合わせて36.3%と、約4割にのぼる。P9の1年前との月収の比較で「増えた」という回答は約3割にとどまったことからみると、月収が変わらずとも自己投資額を増やしている女性たちがいることがうかがえる。

3年前と比較すると「とても増えた」「やや増えた」が合わせて43.5%。半数近い女性たちが自己投資額を増やしている。P11の3年前との月収の比較に連動した結果がうかがえることから、月収が増えた分を着実に自己投資へとまわしている女性たちの姿が想像される。

# 今後の投資先は「旅」と「自己投資」

Q7. 今後、どんなことにもっとお金を使っていきたいですか？上位3つをお選びください。

n=168



トップは「旅行・レジャー」の89ポイント。つづいて「スキルアップ」「自分磨き」「習い事・お稽古事」と続き、この3項目をあわせると183ポイントと非常に高い。女性たちが今後投資したいと思っている2大項目は、「旅行」と「自己投資」。非日常を味わえ、貴重な体験ができることと、自分のスキルや魅力を高めること、この二つに主眼をおいてお金を使っていきたい女性が多いと読み取れる。

# スキルアップしたい20代、30代以降は自分磨きも

## Q7を年代別に集計

n=168

	20代	30代	40代	50代
旅行・レジャー	18.1%	15.5%	17.9%	24.6%
スキルアップ	20.8%	12.1%	14.3%	12.3%
自分磨き	11.1%	11.6%	13.1%	8.8%
習い事・お稽古事	12.5%	10.1%	10.1%	10.5%
ファッション・衣料小物・アクセサリ	8.3%	13.5%	7.7%	10.5%
健康・スポーツ・リラクゼーション	1.4%	9.2%	8.9%	7.0%
友人・知人との交流(飲み会など)	9.7%	6.3%	7.1%	5.3%
音楽・映画・美術館・コンサート	1.4%	2.9%	4.8%	8.8%
家具・インテリア	1.4%	4.8%	3.6%	3.5%
化粧品・美容雑貨	4.2%	3.4%	4.2%	3.5%
異業種交流会・合コン・婚活パーティなど	4.2%	4.3%	1.8%	0.0%
書籍・雑誌・CD・DVD	1.4%	2.4%	3.0%	1.8%
食べ物・お菓子・嗜好品	2.8%	2.4%	2.4%	1.8%
ゲーム・インターネット	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	2.8%	1.4%	1.2%	1.8%

30～50代では、やはり「旅行・レジャー」への消費意欲が最も高いという結果がみられた。一方、20代をみると、「旅行・レジャー」をおさえて「スキルアップ」の割合が最も高いという結果に。また、項目別にみると「ファッション」では30代、「自分磨き」では40代の割合が高い。30歳をこえるとスキルだけでなく、自身の魅力アップ意識にも目が向けられるようだ。また「音楽・映画・美術館・コンサート」は50代で高く、趣味・教養へあてたいという意識も垣間見える。

# お金の使い方・理想と現実のギャップ...

「Q4.今お金を使っていること（現実）」と「Q7.今後お金を使いたいこと（理想）」との差を年代別に集計 n=168

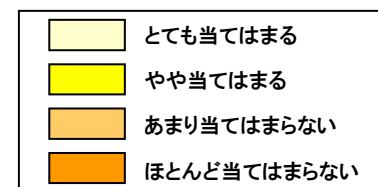
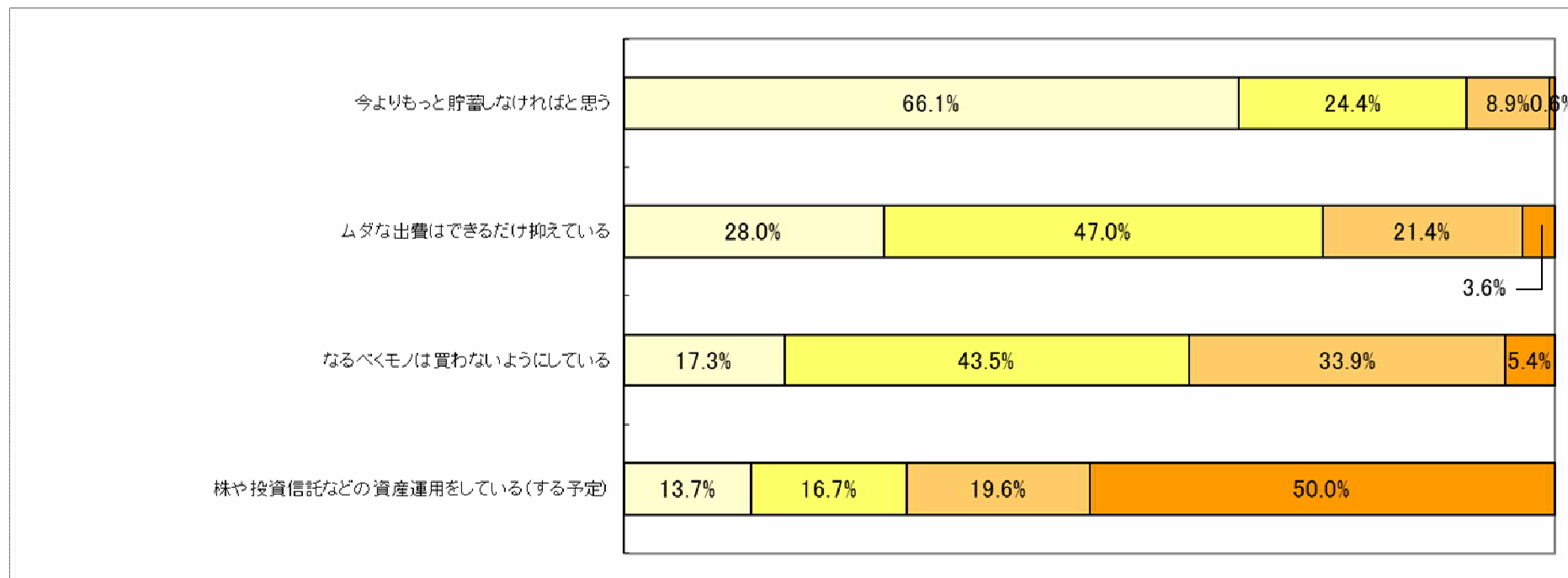
	20代			30代			40代			50代		
	理想	現実	ギャップ	理想	現実	ギャップ	理想	現実	ギャップ	理想	現実	ギャップ
旅行・レジャー	18.1%	8.3%	9.7%	15.5%	9.2%	6.3%	17.9%	4.8%	13.1%	24.6%	8.8%	15.8%
スキルアップ	20.8%	4.2%	16.7%	12.1%	2.9%	9.2%	14.3%	7.1%	7.1%	12.3%	1.8%	10.5%
自分磨き	11.1%	4.2%	6.9%	11.6%	6.8%	4.8%	13.1%	8.3%	4.8%	8.8%	8.8%	0.0%
習い事・お稽古事	12.5%	5.6%	6.9%	10.1%	7.2%	2.9%	10.1%	8.3%	1.8%	10.5%	10.5%	0.0%
ファッション	8.3%	22.2%	-13.9%	13.5%	20.3%	-6.8%	7.7%	16.1%	-8.3%	10.5%	12.3%	-1.8%
健康・スポーツ	1.4%	2.8%	-1.4%	9.2%	6.3%	2.9%	8.9%	5.4%	3.6%	7.0%	3.5%	3.5%
友人・知人との交流	9.7%	13.9%	-4.2%	6.3%	9.7%	-3.4%	7.1%	9.5%	-2.4%	5.3%	8.8%	-3.5%
音楽・映画・美術館・コンサート	1.4%	1.4%	0.0%	2.9%	3.4%	-0.5%	4.8%	3.0%	1.8%	8.8%	7.0%	1.8%
家具・インテリア	1.4%	0.0%	1.4%	4.8%	1.0%	3.9%	3.6%	1.2%	2.4%	3.5%	3.5%	0.0%
化粧品・美容雑貨	4.2%	11.1%	-6.9%	3.4%	9.2%	-5.8%	4.2%	11.3%	-7.1%	3.5%	7.0%	-3.5%
異業種交流会・合コンなど	4.2%	0.0%	4.2%	4.3%	0.5%	3.9%	1.8%	0.6%	1.2%	0.0%	3.5%	-3.5%
書籍・雑誌・CD・DVD	1.4%	2.8%	-1.4%	2.4%	6.3%	-3.9%	3.0%	6.0%	-3.0%	1.8%	5.3%	-3.5%
食べ物・お菓子・嗜好品	2.8%	20.8%	-18.1%	2.4%	16.4%	-14.0%	2.4%	18.5%	-16.1%	1.8%	15.8%	-14.0%
ゲーム・インターネット	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	-0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	-1.8%
その他	2.8%	2.8%	0.0%	1.4%	0.5%	1.0%	1.2%	0.0%	1.2%	1.8%	1.8%	0.0%

理想よりも現実に使えるお金が少ないのは、特に20・30代では「スキルアップ」、40・50代では「旅行」という結果に。特に20・30代は「食べ物」「ファッション」への現実額が理想額を大きく上回っていることから、自身のスキル向上よりも日常的な消耗品の出費が家計を占めているという状況か。一方、40・50代は「自分磨き」「習い事」のギャップは低めで、比較的理想的にお金を使っている様子。もっとレジャーに充てたいという気持ちが垣間見える。

# ムダな出費は控える、貯蓄はもっと・・・堅実な消費意識

Q8. 今のご自身のお金の使い方について、お考えに近い回答にチェックしてください

n=168

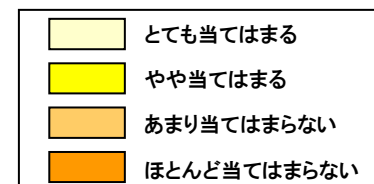
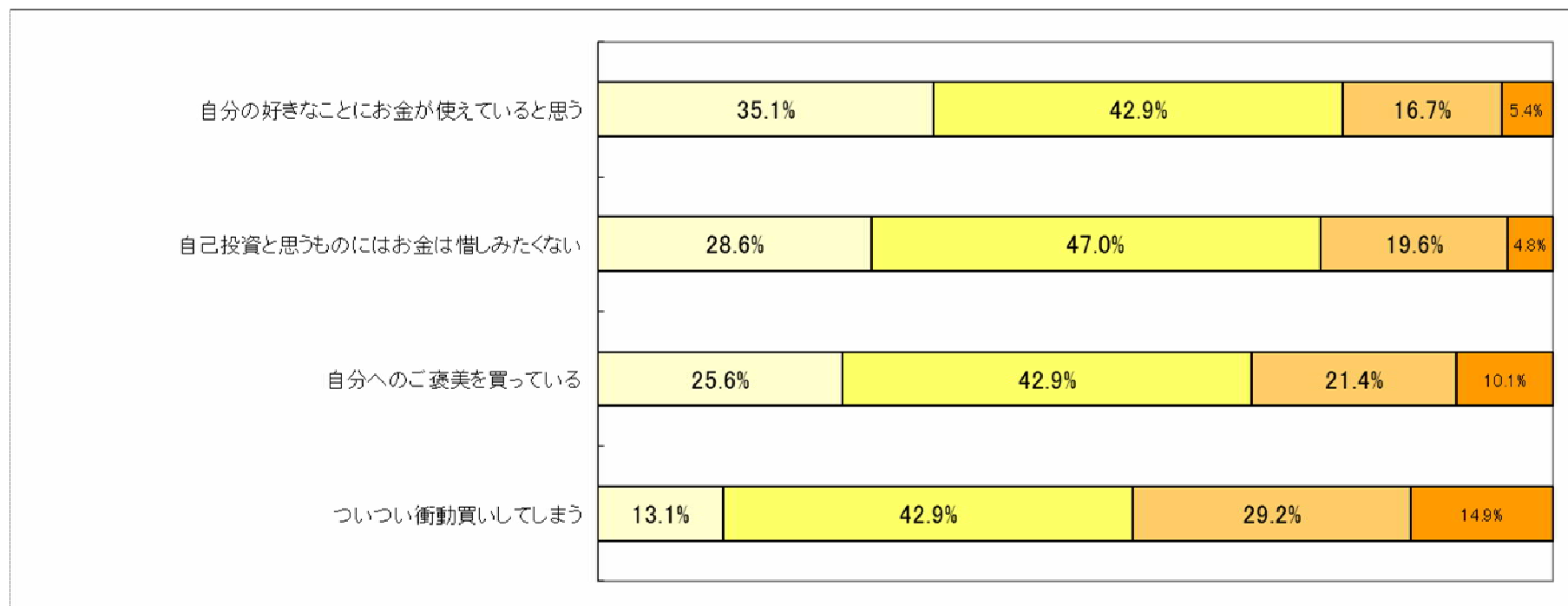


「今よりもっと貯蓄しなければと思う」には約9割、「ムダな出費はできるだけ抑えている」に約7割、「なるべくモノは買わないようにしている」に約6割が、「とても・やや当てはまる」と回答。貯蓄意識が高く、ムダ遣いやムダ買いはできるだけ抑えようという、女性たちの堅実な節約志向がみえてくる。一方で、「株や投資信託などの資産運用をしている(する予定)」には約7割が「あまり当てはまらない・ほとんど当てはまらない」と回答。積極的な資産運用には慎重なようだ。

# 自分の使いたいところには惜しまない！メリハリ消費

Q9. 今のご自身のお金の使い方について、お考えに近い回答にチェックしてください

n=168

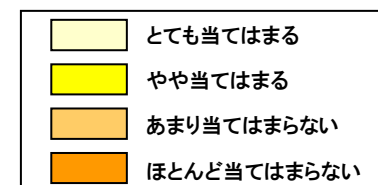
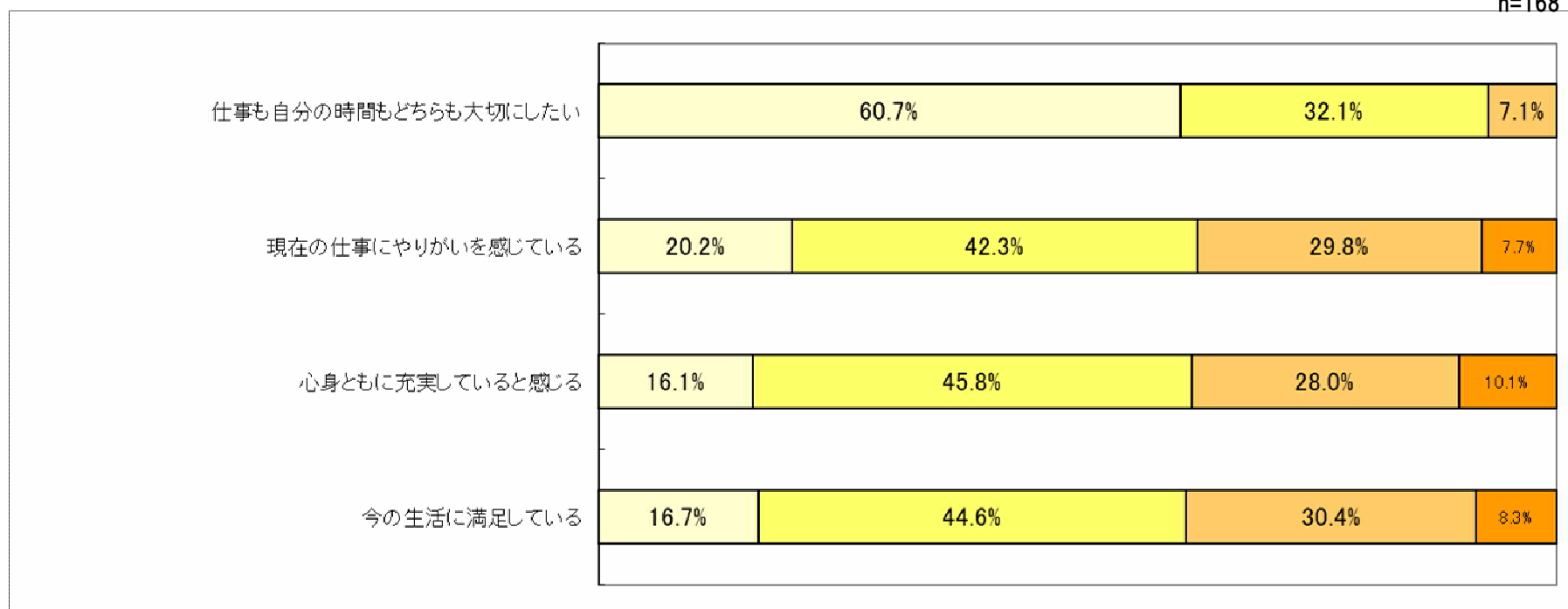


「自分の好きなことにお金が使えていると思う」「自己投資と思うものにはお金は惜しみたくない」「自分へのご褒美を買っている」に「とても当てはまる」「やや当てはまる」という回答は約7～8割。自分の使いたいもの・好きなものにはお金を使っている傾向がみられる。前ページの堅実な消費意識と、好きなことにはお金を惜しまない、という女性たちのメリハリ消費の意識がうかがえる。

# 約半数の女性は、充実した仕事と生活

Q10. あなたの現在の仕事と生活について、お考えに近い回答にチェックしてください

n=168

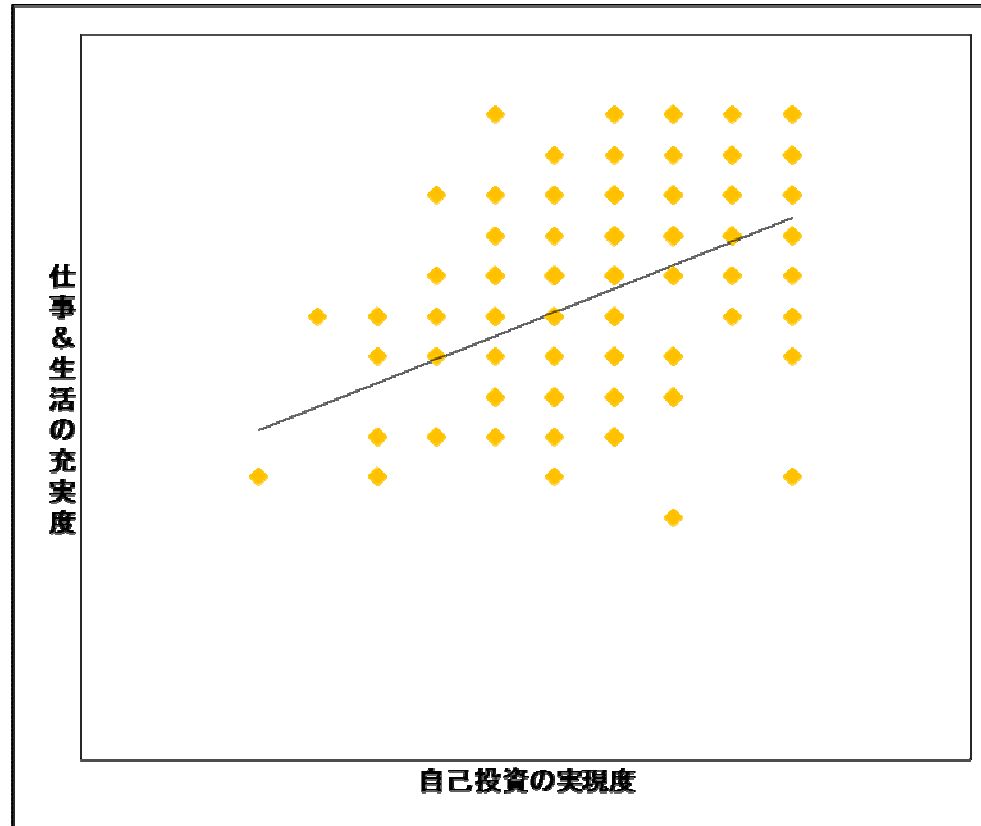


「仕事も自分の時間もどちらも大切にしたい」には9割以上、「現在の仕事にやりがいを感じている」、「心身ともに充実していると感じる」、「今の生活に満足している」にはそれぞれ約6割、「とても・やや当てはまる」という回答が得られた。半数以上の女性が仕事と生活に充実感を感じ、どちらの時間も大切にしたいという意識が強いようだ。

# 自己投資するほど仕事も生活も充実！

「自己投資の実現度」と「仕事&生活の充実度」との相関係数

n=168



※「自己投資の実現度」には、Q9の「自分の好きなことにお金が使えていると思う」「自己投資と思うものにはお金は惜しみたくない」「自分へのご褒美を買っている」の3項目の回答の平均値を使用。

「仕事&生活の充実度」には、Q10の「仕事も自分の時間もどちらも大切にしたい」には9割以上、「現在の仕事にやりがいを感じている」、「心身ともに充実していると感じる」、「今の生活に満足している」の4項目の平均値を使用。

「自己投資の実現度」が高いほど、「仕事&生活の充実度」も高いという、相関関係がみられた。自分の好きなことにお金を使い、自己投資にお金を惜しまない人ほど、仕事や生活にやりがいや満足を感じやすい、と読み解くことができる。

## 【総括】働く女性たちのフトコロ・消費事情は…

- ◆福岡女性の平均像…年収は250～400万円台、貯蓄は50～500万円台、お小遣いは1万～3万円台  
年収400万円以上、貯蓄500万円以上、お小遣い50,000円以上の高所得層も、全体の約1/4を占める。
- ◆貯蓄の目的は、「老後」「不測の事態」など先行き不安な将来と、「旅行」のため
- ◆月収は、3年前からはややアップ、1年前からはほぼ変化なしという実感。  
3年前の経済不況時からは、やや景気は上向いたものの、それ以降の景気回復は横ばいか？
- ◆ファッションの購入場所は博多vs天神の構図。ファストファッションも賢く利用  
ファッションアイテムの購入場所は「博多阪急」「アミュプラザ博多」と博多地区が盛り上がりを見せている一方で天神地区も健闘。両エリアが均衡しているようだ。また「イオンなどの大型モール」利用者も多数。ここ近年、福岡進出が続くファストファッション系列店も、働く女性は賢く利用しているようだ。
- ◆女性たちがお金を使っているのは、「ファッション」「食」「自己投資」  
特に「自己投資」に関しては、40代までは年を重ねるほどより多くのお金をかけているという結果がみられた。「自己投資」に積極的な女性たちの姿がみえる。
- ◆自己投資額、4～5割の女性たちが1年前・3年前よりも増えている  
自己投資額が1年前と比べて「増えた」のは約4割、3年前と比べて「増えた」のは約5割。月収が増えた分を着実に自己投資へとまわしている、もしくは月収が変わらずとも自己投資額は増やしている女性は多いようだ。
- ◆女性たちが今後投資したいと思っているのは「旅行」と「自己投資」  
女性たちにとって、いかに「旅行」が人生において重要であるか、そしてスキルや自分の魅力をさらに高めたいという意欲が高いかが表れている。また、20代では「スキルアップ」、30代では「ファッション」、40代では「自分磨き」への意欲が高く、20代は自分のスキルや能力へ、30代以降は自分の魅力アップへ意識が向けられているようだ。
- ◆消費志向は、堅実さとメリハリ。また、自己投資をする女性ほど、人生の満足度も高い！  
無駄遣いは抑えて貯蓄する一方で、好きなことには使うというメリハリ消費志向が高い女性たち。また、自分の好きなことにお金を使い、自己投資にお金を惜しまない人ほど、仕事や生活にやりがいや満足を感じやすい、という結果がみられた。

自らお金を稼ぎ、無駄遣いや無駄買いを抑えて将来のために貯蓄をする一方で、ただ蓄えるのみならず、旅行や自己投資など自分の好きなこと・自分を高めることには惜しまずお金を使う働く女性たち。今後の消費をけん引し、日本経済にもインパクトを与える存在だといえるだろう。

また、過去よりも自己投資額が増し、年齢を重ねるほど自己投資にかけるお金が増えている女性も多いことから、今後も女性たちの「自己投資」消費は増えるだろう。スキルアップを望む20代、自分磨きがしたい30・40代など、各世代のニーズをうまく読み取ることが、消費意欲をより高めるひとつの方法となるはずだ。



本件に関するお問合せは、  
株式会社アヴァンティ まで

avanti

**【データご利用の際のお願い】**

データの引用、出版・印刷物への転載に関しては、出典元を「avanti働く女性研究所調べ」と明記していただければ、基本的にご利用いただけます。また、ご使用に際しては必ず下記の「avanti働く女性研究所」窓口までご一報ください。

**E-mail : [labo@e-avanti.com](mailto:labo@e-avanti.com)**

**TEL : 092-724-3226**